

ルネサス懇

<発行者>
ルネサス関連
労働者懇談会
(ルネサス懇)
意見と情報は、
〒142-0043
東京都品川区二葉
2-20-8染野ビル
(電機労働者
懇談会気付)
(03) 6421-5323

電機・情報ユニオ
ンへの相談は、



メンタルヘルスに注意

心の健康はいかがですか

ルネサスにお勤めの皆さま、心の健康状態はいかがでしょう。9月にはメンタルヘルス教育と、セルフチェックの機会があったことと思います。昨年の4Qに突然の「使命退職リスト」があり、その直後から今年1Hにかけて、メンタルヘルスの休職者が増えたとの報告もあり、心配しています。

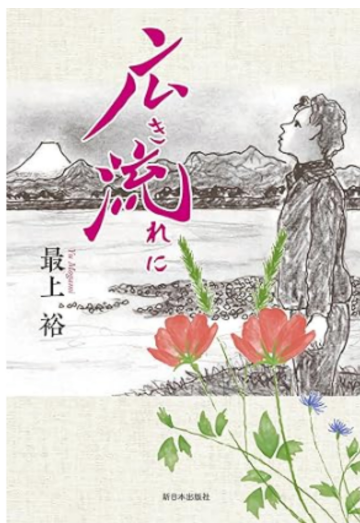
「広き流れに」の紹介

ここで本を一冊紹介いたします。大手電機メーカー出身の作家・最上裕さんの書かれた「広き流れに」という作品です。

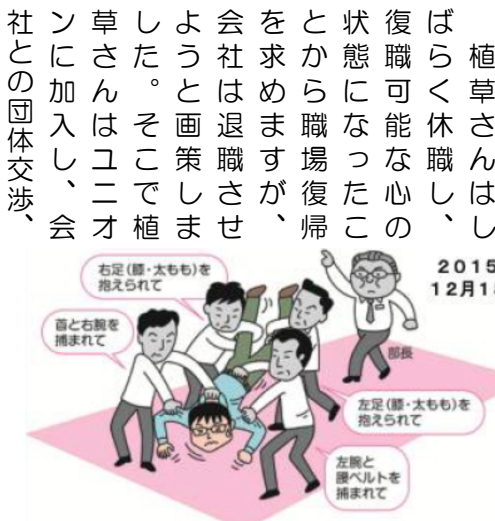
この作品は、大手電機メーカーの子会社で実際にあった事件をもとに、固有名詞を除いてほぼ事実をありのままに著したルポルタージュ小説と呼べるものです。

本小说の主人公の植草雅弘さんは、ごく普通の真面目な若者です。彼は、現在の若い世代の多くと同様に、中高年ばかりの職場にただ一人新卒として配属されました。はじめての会社員生活に適応しようと頑張ったのですが、ある日の宴会の席で上司からセクハラに遭い、大変なショックを受けます。その後、勤務時間中にもその時の出来事がフラッシュバックしてしまうなど、心のバランスを崩してしまいました。

ここから更に問題が起きます。植草さんは、会社の健康管理センターの看護師から、病院の精神科を受診するよ



うにと、しつこく言われました。遂には看護師の勝手な「診断」によって発達障がいで仕事ができないというレッテルを貼られてしまいます。そして勤務時間中に職場の席から力づくで離され、上司や同僚数人に無理やり吊り下げられて、社外へと連れ出されてしまいました。



植草さんはしばらく休職し、復職可能な心の状態になったことから職場復帰を求めますが、会社は退職させようと画策しました。そこで植草さんはユニオソ加入し、会社との団体交渉、裁判闘争を経て、ついに職場への復帰を果たしました。そこに至るまでには大変な苦労がありました。それは本書を読んでいただければと思います。

悪質な事例があれば相談を

実は、この植草さんの事件のように、会社がメンタルヘルスを病んだ社員を休職させたあと復職を認めず、休職期間満了を理由に退職に追い込むという手口は、すでに電機の複数の会社で確認されています。このようなやり方は、それ自体が極めて悪質な人権侵害であるだけでなく、職場の人たちがセルフチェックや産業医を信用できなくなり、心の健康を悪化させてしまう原因にもなるものです。また、心を病む原因の多くはハラスメントなどの職場環境にありながら、病気になる側の問題とされてしまっ、根本原因が改善されないことにもつながります。

もし心の健康を理由に退職を迫られるという事例がありましたら、電機・情報ユニオンまで御相談ください。